

スカムの汚れが目立った8月頃

合成洗剤と粉石けんでは、下水処理に及ぼす影響がどのように違うのか。富士見台地区で行われたテストの中間結果がまとまりました。

富士見台下水処理場には、近年スカムと呼ばれる泡状のカスが発生し処理機能に大きな影響をもたらしていました。その原因は、石油系の合成洗剤ではないかと考えられ、市は、富士見台団地1,661世帯5,550人に対して9月から12月までの4ヵ月間、植物性粉石けんを無料配布し、これで洗たくをしてもらい、スカムを取除くテストを行っています。

粉石けん 下水道

ずっと良くなった水の汚れ

テストの結果は、中間報告の段階で早くも粉石けんの優位性が実証されました。

調査項目は、水質汚濁や悪臭などに関係の深いBOD（生物化学的酸

素要求量）やCOD（化学的酸素要求量）SS（浮遊物質）など23種類におよんでいます。

下水道処理施設への流入水は、テスト前後8月と9月では使用量が違

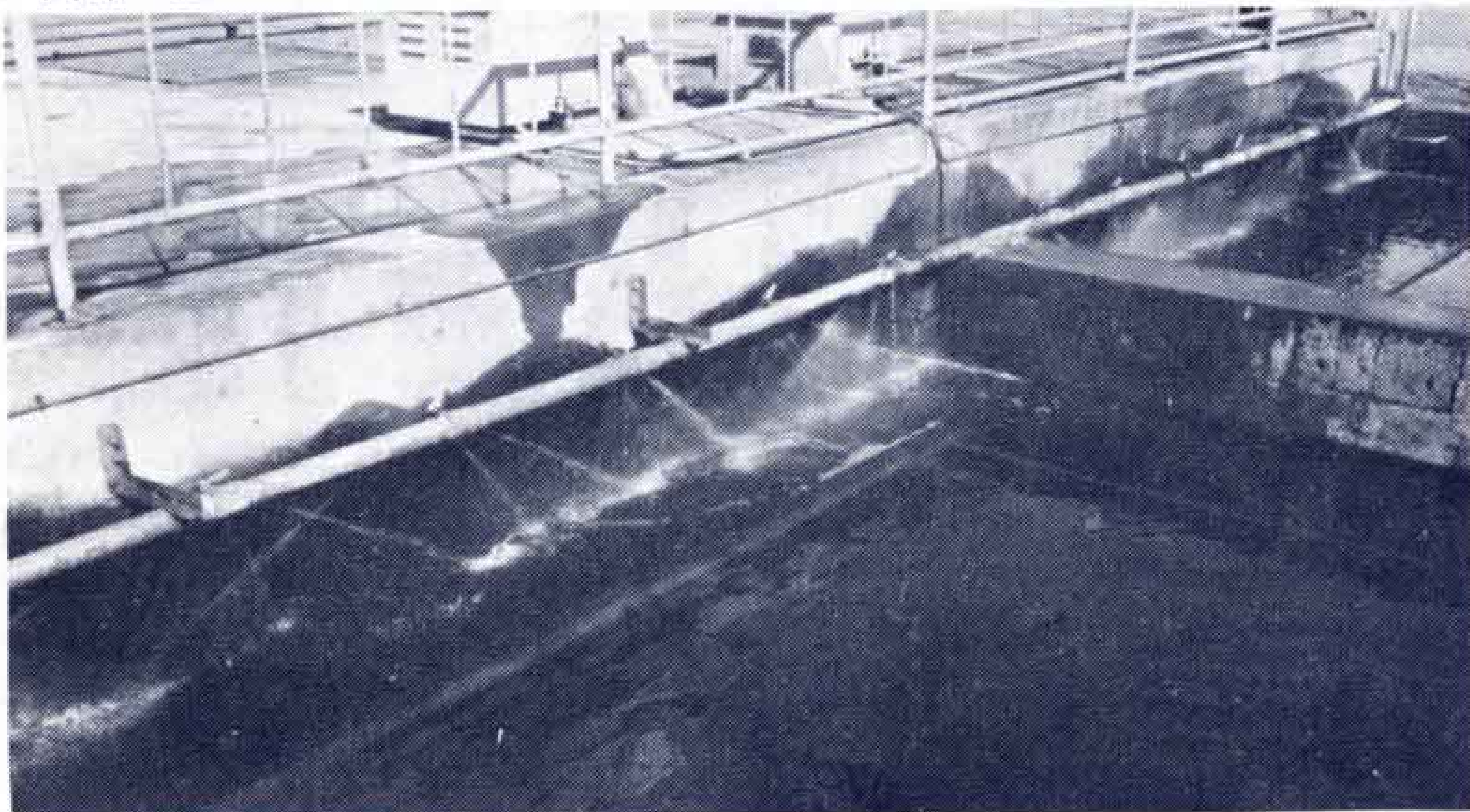
うので、単純に比較はできませんが、水の汚れの目安となるBODは流入水時1ℓ当たり199.0mgが181.0mgに、放流水時には4.2mgが2.1mgと2分の1に好転しました。

このほかCODも減少し、放流水時の透明度も48%から50%と良くなりました。

また流入下水のリンは44~66%減り、陰イオン界面活性剤については62%減りました。これは地域住民が協力し、積極的に粉石けんを使用したことの現われでもあります。

浄化効率も上がる

下水道課計画担当主査の渡辺佐一郎さんは「とにかく浄化効率はずっとよくなりました。下水処理にとって必要な微生物が2.3倍くらいに増え、反対にスカムを発生させる悪い微生物



すっかりきれいになった最近の処理場

みんなの力でさらに大きく

国民年金に加入しましょう

国民年金は、働けるうちに掛け金（保険料納付）をして、としをとったり、病気やケガで働けなくなったときに年金を受けて、生活の不安をなくそうとする制度です。

富士市では、現在4万5,000人が国民年金に加入し、1万2,500人が年金を受けています。

国民年金に加入しなければならない人は、農林漁業、商工業やサービス業などの自営業者、5人未満の事

業所の従業員と、これらの家族で、厚生年金など他の年金制度に加入していない人です。

またサラリーマンの奥さんなどは、希望すれば任意に加入することができます。

保険料は、昭和55年度の場合、定額で1ヵ月3,700円。年金受給額は、物価に応じて改正しますので将来目減りすることはありません。

国民年金はみんなの制度です。



みんなが加入して、さらに大きく育てましょう。

加入手続きは市民課でできます。